

東館

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	8	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	本人の暮らしと家族の願いを支援できるよう「笑顔」をキーワードとしてグループホームとしての役割を課題に理念を作り上げている。	0	
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に向けてユニット毎、職員個人別に目標を上げ、統一したケアの提供が出来るよう努力している。	1	理念を日頃のケアに繋げられるように具体的な工夫を続けていく。日々の申し送りや、カンファレンスで話し合うなど。
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	定期的な家族会で家族にわかりやすく、日頃の写真（笑顔がいっぱい）をスライドショーで紹介し、日々の生活の場面を、理念と共に紹介し理解を深めている。	1	地域には運営推進会議を通して理念を理解してもらえるよう努めている。
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	行事ごとに出向くようにしている。（年忘れもちつき会の後に近所に配る。クリスマスに作る手作りケーキの「いちご」を隣のいちご畑より購入するなど）	1	現在は行事のときしか交流する機会がなく今後は日常の中で気軽なお付き合いができる様に努めて行きたい。
	5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議を通して行事に参加していただいている。地域のお祭への参加（荒木祭り等）	1	地域の特性もあり近所にはアパートが多く、昼間の人口が少ない。昼間行事をしてもなかなか来てもらえるのが難しいため、工夫をしていきたい。（スタッフのゆとりも大切）	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 と い の	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の健康福祉の会「食事会」などへの参加や、地元学生の実習受け入れを行なっている。(短期大学、高校等)	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果について、組織の会議等で公表し結果の意義について理解し、運営者、管理者、職員が改善に向けて具体的に取り組んでいる。	1	外部評価を受ける上で必要な、自己評価をより有効に活用できるように、工夫していきたい。(ケアの原点を振り返る良い機会として)
		8 外 部 評 価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では行事、日頃の様子、事故報告等について報告し、運営推進会議の中で意見やアイデアなどを出していただき、利用者がよりよく過ごして頂けるように工夫している。地域の行事の案内や、地域の様子を伝えてもらい、グループホームが地域で担える役割についても模索してサービスの向上に努めている。	0	
		9 外 部 評 価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者と地域の事業所のサービスの向上に向けて、研修会への参加、研修会の講師、事例報告などを行い取り組んでいる。	0	
		10 外 部 評 価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者の中に成年後見制度を利用されている方があり、地域権利擁護、成年後見制度については勉強会を行なっている。玄関には相談窓口のパンフレットを用意している。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンスの時に虐待防止に関して意識付けを行っており、入居者に対するケアのあり方を日頃より振り返るようにしている。職員間において何でも話しやすい関係であり虐待が行なわれない様に努めている。	1	ユニットごとにマニュアルがあり、今後は虐待に関する勉強会や話し合いを行って行きたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	4		理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	2	
理念に基づく運営	4	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約の際には料金説明、サービスの内容について説明を行い、疑問点については十分な説明を行っている。契約時以外でも契約内容に関する説明ができる様、日頃より話しやすいようにしている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活の会話の中で、出てくる言葉や一人一人の表情、態度を読み取り全職員や責任者へ伝わるよう、申し送りやカンファレンスで検討している。	1	
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族向けの便りを定期的に出しておりその方の写真と、日頃の様子を、手書きの文章にて便りを作り家族へ送っている。来訪時にも入居者の健康状態や出来事を報告している。	1	担当者会議を開き、利用者のより細かい情報を家族に直接伝えている。
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に日頃の報告と共に、意見や不満がないか遠慮なく言っただけするようにしている。又担当者会議の中でも色々な話をして話しやすい雰囲気作りに努めている。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス、申し送りの時間に出来る限り職員の意見、提案を聞くようにしている。ユニットのリーダーを通じて現場職員の意見をきくことが出来ている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況が変化したり、人員不足が生じた場合は管理者が通常のシフトに入っていないので応援体制をとることが出来る。行事等で人員が必要な場合は柔軟な配置調整を行なっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 る 理 念 た め を の 実 体 践 制 す	18 外 部 評 価 10	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職時には利用者のダメージを防ぐ為職員の紹介や引継ぎの期間を設けている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
		19 外 部 評 価 11	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の年齢や性別を採用基準としてあつかっては いない。採用した職員の一人一人の、特技、能力 を活かして力を發揮できるように役割を持ってもら っている。	0	
		20 外 部 評 価 12	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎朝の申し送り時に職員が人としての意識向上を めざしていけるよう「倫理」の本を読み一日を始 めている。	0	
		21 外 部 評 価 13	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	公的な機関の研修から、民間の研修機関の案内を 職員に広く情報を提供し、学ぶ機会を提供してい る。必要な研修においては、年間の計画を立て出 来る限り参加出来るように配慮している。研修後 の発表、法人内での独自の研修会を行なってい る。	0	
		22 外 部 評 価 14	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護サービス事業者協議会の研修会への参加や、 事例発表などを行い他事業者との交流を行なっ ている。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員が新しく入職してきた時はそのユニットごと で歓迎親睦会を開いて、ストレスの軽減に努めて いる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員が資格取得や研修に行く事に協力的であり向上心に対して評価を行っている。(資格取得者の表彰や資格手当の支給)	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	3	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時にご本人の状況を出来るだけ詳しく聞いて、どんなサービスが一番必要であるかを見極め、柔軟に対応している。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の経済状況や、支援体制、求めているものを的確に把握し提示できるようにしている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談に見えた時点で本人が置かれている状況を見極め、本当に入居が必要なのか、ご家族の状況ではまだ在宅でのサービスを活用することで対応できるのか、いろんな提案をしながら、入居の必要性を検討している。	0	
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居が必要であっても、いきなり入居していただくのではなく、空き部屋を利用してのショートステイの利用や、入居前に何度か遊びに来て頂き体験利用などで慣れていただき馴染めるように工夫している。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	3
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフと利用者という立場でなく、共に過ごし、共に泣いたり、笑ったり、喜んだりして、人生の先輩として生活の知恵などを教えてもらいながら支えあうよう関係に努めている。	1		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	担当者会議を通じて利用者の様子や家族の思いを聞き職員の思いを細かく伝えることで、本人と一緒に支えるために協力関係を築いている。	1	担当者会議に医師やPTなど参加できにくい為事前に助言を求めている。
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族来訪時に本人の様子をこまめに報告、相談し、家族との時間が過ごせる様配慮している。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の友人、知人が尋ねてこられたりしたらスタッフも話に入って仲良くなったり、又以前から出かけてあった場所への外出ができるようにしている。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日のお茶や食事の時間は職員も一緒に入り、入居者同士の関係が上手くいくように、又入居者同士だけの関係が出来る様に働きかけたり、見守ったりしている。	1	利用者同士の関係作りが出来ていくように関わり過ぎないように、時には距離を置いて見守り関係作りを工夫していきたい。
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院となった方へは千羽鶴を持ってお見舞いに行ったり、ご家族へ様子をお聞きしたりして関わりが途切れないようにしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	2	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
1	35	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で利用者の言動や表情などから気付きを増し、スタッフ間で共有している。又担当者会議を開き言葉にしづらい思い等は家族と相談し、本人本位に検討している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメントを用いてご家族よりご本人の生活歴の情報把握に努めている。又日頃の会話の中やご家族来訪時に情報収集に努めている。	1	ある程度の情報はすでにセンター方式で得ているが、より細やかな情報の収集を継続しより良いケアへとつなげていきたい。
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人一人の生活リズムを理解して、出来ない事より、できる事に視点を置きその人の暮らしがより良い生活が出来る様に工夫している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議を開き、本人や家族が日々の生活の中での安心して暮らせる為の要望を取り入れながら、カンファレンスでは職員の意見を取り入れながら本人の立場に立ったケアプラン作りに努めている。	0	
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の状態が向上したり、又は悪化した時は家族や医療機関と相談しながら本人に即した介護計画を作っている。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルに本人のありのままの言葉や様子を記録し、申し送り、カンファレンス等で報告し各職員の気付きを共有し入居者のより良い暮らしを支えられるようにしている。	1	毎日の生活と介護計画とを照らし合わせ、カンファレンスにて計画に沿ったケアが出来ているか、スタッフ全員が確認している。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関が隣接しており、利用者の病状に合わせ、入院などが負担とならないように、往診や、短い期間の入院などで、適切な医療が受けられるように支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	0	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員や自治会長さんの協力により、地域版の広報を回覧板に載せていただき、グループホームの役割を地域の中で活用できるように、模索している。又学生実習の受け入れなどでグループホームを広く知っていただき、地域に根ざした活動を目指している。	0	
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	理美容の出張サービス、訪問歯科サービスなどを利用し利用者のくらしの支援を行なっている。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加する包括支援センターの職員等と情報交換しながら、地域の住民の方が包括支援センターを活用したり、包括支援センターの情報を本にグループホームの役割などを一緒に考えて言っている。	0	
		45 外部 評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は本人、家族の希望に合わせている。医療機関への受診、通院介助は家族の協力を得て職員が通院介助を行なっている。又協力医療機関より訪問診療に来てもらっている。複数の医療機関と契約を結び適切な医療を受けられるよう支援している。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	複数の精神科の医療機関と協力体制をとっており、受診を始め、電話での相談にも気軽に応じられる体制をとっている。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関より、月 2 回以上の定期訪問看護や、日常的にも利用者の健康管理についての相談、夜間の電話での相談にて協働出来ている。	0	



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	母体の医療法人より、月2回以上の医師による回診を行なうことで、日頃より利用者の健康状態の管理相談を行い、医師が利用者の情報を知ることが出来、緊急時でも適切な対応が出来る体制となっている。	0	
		49 外部評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の指針を作成し、入居時に説明を行っている。又食事が入らなくなってきたり、状況的に重度化されてきたら、医師より現状の説明及び、家族の意向を確認し今後の方針を定め、支援に繋がれるようにしている。終末期においては、家族の気持ち、本人の思いを尊重し「同意書」を交わして方針の共有に努めている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	「看取り同意書」に基いて、協力医療機関などと、連携を取り、安心して最期を迎えられ、ご家族、ご本人を支えられるように職員が一体となり、カンファレンス、担当者会議を通して情報を共有しその状態において必要なことを何度も確認しながら支援している。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設からの入居、又他の施設への転居についてはサマリーなどの情報提供を細かく行なったり、職員への聞き取りを行いダメージが最小減となるようにしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	7	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	6		
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	1		
		52 外部評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常の声かけはプライバシーを損なわない様に本人だけに聞こえるように耳元で話しかけるよう配慮している。個人情報の取扱いについては、個人記録のファイルの取扱いや、書類の持ち出し禁止など個人情報の取扱いについて理解してプライバシーの確保に努めている。	0	
	53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意向を大切に生活の場に合わせ、本人が納得し決められるように声かけや、自己決定が出来るような場面作りをしている。おやつを自分で選ぶ場面など。	1	こちらが気付かずにいる利用者の気持ちをもっとくみ取り、意思表示できる場面を作って行きたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の生活リズムを大切に本人の気持ちを優先し個別性のある支援を行なえるように努めている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行事、天気、季節に応じて入居者と一緒に洋服を選んだり、その人らしい整容ができる様ご家族の方からお聞きしながらかみの長さなどを美容師さんをお願いしている。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備など入居者と一緒に出来る部分は出来る限りしている(頂いた旬の野菜を調理したり等)テーブルを拭いたり、下膳をしたり、茶碗拭きをして頂いている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者が食べたいものを一緒に買い物に行ったり、おやつなどその人の好みに合わせ、皆同じ物でなく状況に合わせている。	1	利用者の方が気軽に出掛け外食する機会をもっと増やして行きたい。
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを全職員が把握しておりさり気ない声かけにより、トイレでの排泄が出来る様になっている。トイレの場所がわからない方の排泄サインを見逃さない様に誘導している。	0	
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には入浴日を決めてはいるが、本人の体調や意思を尊重し柔軟な対応を行なっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間寝付けない時などは、職員が傍に寄り添い添い寝やじっくりと話を聞いたりして安心出来るよう配慮している。	1	なかなか寝付けない方には、足浴や、夕方の入浴を取り入れられるよう、取り組んで行きたい。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の得意なことを活かし、できる事をして頂き、日々の生活に張りや楽しみが持てるように支援している。(毎朝の新聞取り、洗濯物たため、雑巾縫い、お茶パック作り等)	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	散歩や買い物に行った時は本人が支払いをして頂き、お金を持つことの大切さを実感して頂くようにしている。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の体調、希望に応じて心身の活性に繋がる様に、外食、買い物、ドライブなどに出かけている。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別に利用者が行って見たいところへの外出の機会が近頃は無い。計画を立て行なって行きたい。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者が電話をしたい時はいつでも出来る様に配慮している。公衆電話も設置している。	1	家族へのはがきを出したりする機会を作り、積極的な支援を行なって行きたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	早朝や遅い時間でも来訪できるよう面会時間は決めておらず、いつでも気軽に来て頂ける様に配慮している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	グループホームケアが拘束をしないケアを基本としている事を常日頃より話しており、無意識で行なっている事の中に拘束に結びついていないか職員同志で気付き合えるようにしている。	1	権利擁護の勉強会を、組織内の研修会で行なっている。今後も意識の向上に向け続けていきたい。	
		68 外部評価29	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は段差が大きく、転落事故があった為施錠を現在は行なっている。中庭に出るドアはスロープで段差がなく安全である夜間以外はオープンにしている。外に出たい方はその人の安全に配慮し声かけや、付き添って外出している。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜問わずフロアーに必ず職員がいるようにしており、安全の確認を行なっている。記録物なども利用者がいる傍で行なっている。居室に一人でいられるかたは時間ごとに訪問し安全に配慮している。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	共同生活の場では安全面を考え必要な部分での保管管理をしている。居室においては利用者一人一人に応じた管理をするようにしている。(はさみ、ガラス製品、洗剤、髭剃りなど)	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	本人の状態をスタッフが把握し、予測される事故に関してはスタッフ全員で防止策を検討し、事故防止に取り組んでいる。起きてしまった事故については、アクシデント、インシデント、の報告を行いカンファレンスにて更なる検討、対策を講じている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命講習を職員が受けているが緊急時の対応が発揮出来るように定期的な訓練を行ないたい。緊急時のマニュアルは有る。実際の利用者の急変時はマニュアルに沿って対応している。	0	
		73 外部 評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消火避難訓練は年2回行っているが地震水害時については訓練を行っていない。マニュアルはある。消火非難訓練については、近所の方に案内を出し参加協力依頼の案内を出している。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族が安全面を第一に希望される場合は、安全を確保するために必要以上の、拘束に近い必要がある時は、ご家族にその弊害等を話し合い、説明しながら、どのような対応が適切なのかをご家族と検討している。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人一人の病気や体調の特徴を把握し、毎日の変化を見逃さない様、早期発見に努め申し送り時等に情報交換、情報共有を行い速やかな対応を心がけている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の服薬している薬の一覧表を作り全職員が分かるようにしている。薬手帳を活用し診察時に持参して薬の状態が分かるようにしている。(訪問看護師や、回診時に医師より、薬に関することを質問相談している)	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日頃から食事やおやつを工夫し水分をなるべく補給できるようにしている。(水分の形態をお茶ゼリー、その人が好んで飲まれる物など)おやつでは繊維質を含んだものを取り入れるようにしている。排泄時の腹部マッサージなども行なっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	その人の状態に応じて、食後のうがい、歯磨きなどの口腔ケアを行っている。(その人が出来るところはやってもらい、出来ないところを手伝う) 又年に1度全員の歯科検診を取り入れている。	1	スタッフ一人一人が口腔ケアの知識の向上を上げるため、歯科の先生等の指導を受け利用者の口腔ケアに役立てたい。	
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事量を記録しており食事の量が明らかに変化が見られる時は医師や看護師、栄養士に相談している。	0		
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防のマニュアルを作成し、インフルエンザ、ノロウイルス等が発生した場合はマニュアルを実行している。月1回感染対策委員会が開かれ予防や対応策について話し合い実行している。	0		
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥機にて、食器や関連の器具は乾燥している。布巾、まな板なども漂白殺菌している。食材や、調理したものは日付を確認し管理している。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ユニットごとの入り口には手作りの看板をあげ、通りがかりの人が判りやすいようにしている。時々近所の小学生が遊びに来る。庭や玄関先には花などを飾り、安心感や親しみが湧くように工夫している。	0		
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季を通じてテーブルに花や、季節の野菜などを置いて季節感を出している。居間や食堂、静養室(畳の間)との間に仕切りがなく、台所からのご飯を炊く匂いや味噌汁の匂いが漂ってくる。廊下の要所要所には天窓があり、光が取り入れられて明るく気持ちがよい環境となっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の一角にソファを置いて一人なれる場所作りをしている。静養室は障子で仕切られた部分があり、横になったり、思い思いに過ごせる様になっている。	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた物(家族の写真、好きな小物など)を家から持ってきて頂き、その方が少しでも落ち着ける空間作りをしている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	利用者の様子を見ながら、安易に冷暖房を使用せず、衣服の調整や空気の入替えなどで温度調整をこまめに行っている。トイレの臭いなどが室内に広がらないように、汚物は新聞にくるみ処理している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	館内の必要なところには、手すりやスロープ、車椅子で館内を自由に移動出来る様に段差をなくしている。又外へはスロープがあり車椅子での外出などができる。ふらつきがひどく転倒の危険性がある方は柱の角にクッションをつけて工夫している。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室には個人情報の理解を得たうえで、個人名を書いてご本人が自分の部屋と分かるように、又他の利用者の部屋と分かるように区別している。時間の感覚、時間が気になる方にはその人が見やすい所に時計を置いて、時間の混乱などを防いでいる。	0		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭には利用者の方が自由に出入りできベンチを置いて日光浴や、涼んだりが出来様にしている。小さな花壇にはきせつの花、野菜が植わっており、草取りなどの手入れが自由に出来る。たまにお昼ご飯を外で食べたり、お茶を飲んだり外での活動が楽しめる。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。